

平成26年度 長岡市教育課程部 活動報告

部長 前田 英也

1 研究の方針

長岡市および三島郡内の小・中・総合支援学校等の教職員が、10教科・3領域をはじめ20の単位研究会・各種協議会に分かれて「長岡市三島郡学校教育研究協議会」を組織し、長岡市・三島郡の教育の充実・発展のために研究実践を進めている。

2 研究の概要

当組織に「教育課程」部会は設けられていないが、今年度の県小教研「学習指導改善調査」における協力校・協力者について以下のとおり紹介する。

- | | | | |
|--------------|------------|---------------|----|
| ① 協力校（2年継続） | 神田小学校（2年目） | 越路小学校（2年目） | |
| ② データ校（2年継続） | 千手小学校（1年目） | 中之島中央小学校（1年目） | |
| ③ 協力者（1年間） | 希望ヶ丘小学校 | 桑原 正大 教諭 | 国語 |
| | 表町小学校 | 川井美代子 教諭 | 国語 |
| | 川崎小学校 | 稲葉謙太郎 教諭 | 算数 |
| | 四郎丸小学校 | 川口 淳 教諭 | 算数 |

3 研究の実際

(1) 学習指導改善調査協力校2年目である神田小学校と越路小学校は、各校の研究主任が長岡市三島郡小学校長会研修会において、実践の概要および成果と課題を報告した。

① 神田小学校 永井 茂 研究主任

教職員相互の交流を通して自ら学び、互いの指導力を向上させる教師集団をめざして、年間1人2回以上の授業公開を実施した。その際、多忙化を解消しつつ研修を充実させるために、指導案はA4判1枚、授業後の検討会は当日設定で40分以内と限定し、授業中の望ましい児童の姿を多く挙げ、その要因をさぐることに焦点つけて協議を進めた。

更に、授業における「道徳的な配慮」を重視し、子ども同士の交流のさせ方やそのタイミングについても、研修を深めた。

② 越路小学校 太田 悦子 研究主任

これまでの研修の経過に加え、11月21日（金）に実施された「授業公開・実践事例報告会」での概要を報告した。（詳細は次項）

(2) 学習指導改善調査協力校の授業公開として、越路小学校が実践事例報告会を開催した。

① 期日 11月21日（金）

② 研究主題 『「数学的な考え方」を身に付け、自分の考えを表現できる子どもの育成』

③ 公開授業 4学年 「面積（複合図形の救積）」 授業者 太田 充子 教諭
6学年 「比例と反比例（反比例の導入）」 授業者 小林 剛 教諭

④ 実践から得られた効果的な手立て



- 1) 課題を明確に持たせるための「見通しをもつ時間」の重視。
- 2) 問題を把握し自分の考えを明確にさせるための「考える技（スキル）」の「活用」。
- 3) 考えを伝え合う場面での、ミニホワイトボード・実物投影機等の活用。
- 4) 場面に即した「ペア学習」や「一斉学習」等の配分。

<6年 ミニホワイトボードによる交流場面>